

成果の説明書

(氏名) 宮田 剛志	(学部) 地域政策学部
1 重要事項 ○研究成果 (1) 科学研究費補助金 基盤研究 C 研究代表者 (令和 6 年度) ① 万木孝雄・宮田剛志「水田活用と畑作物の直接支払いによる転作作物振興に関する評価分析-農業財政における費用対効果の視点による-」『農村と都市をむすぶ』2024 年 1 月号 NO.863, pp.42-55。 ② 宮田剛志・万木孝雄「養豚経営の価値の創出と構成要素 (仮)」(投稿予定) ○学会活動 (1) 農業問題研究学会 学会賞選考委員 (令和 5 年度～令和 6 年度) (2) 令和 5 年度 学外論文査読・審査論文: 1 本 (和文のみ) ○教育活動 日本フードシステム学会 教育支援プログラム 日本フードシステム学会における教育支援システムでは、「食品企業における最先端の製品・技術開発や経営戦略について、社会科学的な観点から学ぶ」ことを実施目的とし、平成 28 (2016) 年度から年 2 回のプログラムを実施している。本プログラムは、大手食品企業や行政等々の様々な方々のご支援の下で、学会関係者によって、その取り組みが推進されている。 (1) 2023 年度ウィンタースクール 2024 年 2 月 24 日 Zoom ミーティング https://fsraj.smoosy.atlas.jp/ja/edu-winter ① テーマ 「つくる人」と「食べる人」がともに築くパルシステムの産直交流 講師 生活協同組合パルシステム神奈川 総合福祉推進室担当課長 横濱基詞氏 生活協同組合パルシステム神奈川 産直交流課主任 中野真美氏 (2) 過去の実施状況 (2016～2021 年) https://drive.google.com/file/d/1oDV7hqd9_dE0JqM9ZF9h7q-tqVRVw-qR/view 2017 年度サマースクールより学部 3～4 年生が、毎回、1～2 名程度、参加している。 ○社会活動 (1) 決算説明会 講師 2023 年 4 月 26 日 生産者の方の決算説明会にて、共同研究者との研究成果に関しての説明を行った。 (2) 農業・農村金融に関する意見交換会 2023 年 12 月 7 日 農業・農村金融に関して、生産者の方 2 名、共同研究者、学部学生 2 名、金融機関 2 行 5 名と意見交換会を開催して頂いた。共同研究者による農業・農村金融に関連するいくつかの論点等が提供された後、質疑応答を行った。学部学生 2 名の問いに対しても、生産者、共同研究者、金融機関の方々には、懇切に説明頂くと同時に、非常に有意義な機会を提供して頂いた。 (3) 講師 明治大学リバティタワー 2024 年 3 月 12 日 生産者の方々の研究会にて、「収益性評価の推移」に関する研究成果の蓄積と農業経営への適用可能性に関しての説明を行った。同時に、生産者の方々より、その適用可能性に関する具体的な課題を様々に提示して頂いた。	
2 その他の事項	

3 次年度以降の計画・抱負

○研究活動

(1) 日本農業経済学会

① 論文投稿

② 書評

(2) 2024 年度畜産経営経済研究会 シンポジウム 2024 年 6 月 22 日

(3) その他

○教育活動

2023 年度の取り組みを継続させていくとともに、その他、順次、再開していく。

○社会活動

2023 年度の成果を、より発展させていくと同時に、その内容の充実をはかっていく。
また、教育活動にも活かせるように取り組んでいく。その他、順次、再開させていく。